



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月29日

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3316 URL https://www.tcs-net.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉丸 弘二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長(氏名) 赤木 正人 (TEL) 03-3280-2711
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,928	6.2	382	55.5	385	56.2	261	60.7
29年3月期第3四半期	6,520	53.6	246	620.3	246	643.7	162	863.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期第3四半期	207.25		—					
29年3月期第3四半期	128.93		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,773	2,678	56.1
29年3月期	5,043	2,480	49.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,678百万円 29年3月期 2,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	83.00	83.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	△2.4	500	30.1	503	30.7	346	38.0	274.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期3Q	1,260,000株	29年3月期	1,260,000株
30年3月期3Q	263株	29年3月期	164株
30年3月期3Q	1,259,786株	29年3月期3Q	1,259,856株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景として設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しましたが、地政学リスクの高まりや、米国の政策動向による海外情勢への影響も懸念され、依然として先行き不透明感は払拭できない状況となっております。

当社の属するIT業界におきましては、サーバー等の第二世代プラットフォームであるハードウェア市場の低価格化や顧客のIT利用環境の変化が鮮明となる一方、クラウド、ビッグデータ、ソーシャル、モビリティといった第三世代プラットフォームにおけるビジネス成長は、より顕著化するとともに、IoTや人工知能といった技術革新が目され、企業を取り巻くIT環境はさらなる進化を遂げようとしております。

このような状況のもと、当社は、「最も安心してITインフラを任せられる企業」を企業ビジョンと定め、顧客価値を創造するため、「顧客を深く理解すること」「最適なIT資源を提供すること」「最新の技術経験を提供すること」「最新の製品を提供していくこと」を行動指針とし、第二世代プラットフォームと第三世代プラットフォームのビジネスバランスを考慮しつつ、新規顧客獲得と既存顧客への深耕を目指した体制作りと営業活動を行ってまいりました。

また、当社が注力するマネージドサービス事業においては、第三世代プラットフォームであるクラウド技術を利用したデータセンター事業やヘルプデスク、業務運用の受託、情報資産の遠隔監視、セキュリティ対策などのサービス提供の充実に努めてまいりました。

当第3四半期累計期間においては、データセンターなどのマネージドサービス事業が堅調に推移するとともに、ハードウェアビジネスに伴う導入支援サービスや大規模なパソコン代替案件などにより増収増益となりました。

受注状況につきましては、受注高6,584百万円(前年同四半期は7,955百万円)、受注残高1,251百万円(前年同四半期は2,202百万円)となりました。

この結果、当社の当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高6,928百万円(前年同四半期比407百万円増、6.2%増)、営業利益382百万円(前年同四半期比136百万円増、55.5%増)、経常利益385百万円(前年同四半期比138百万円増、56.2%増)、四半期純利益261百万円(前年同四半期比98百万円増、60.7%増)となりました。

なお、当社は「情報システム関連事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末の総資産は4,773百万円となり、前事業年度末に比べ270百万円減少しております。これは、主に現金及び預金が273百万円増加及び有形固定資産が469百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が844百万円減少及び商品が139百万円減少したことによるものであります。負債については2,094百万円となり、前事業年度末に比べ469百万円減少しております。これは、主にその他流動負債が270百万円増加しましたが、買掛金が641百万円減少したことによるものであります。純資産については2,678百万円となり、前事業年度末に比べ198百万円増加しております。これは、主に配当金の支払いによる減少75百万円がありましたが、四半期純利益の計上が261百万円あったことにより、利益剰余金が185百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年5月11日発表の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	754,913	1,028,337
受取手形及び売掛金	2,163,351	1,319,024
電子記録債権	323,404	223,255
商品	611,226	471,780
仕掛品	66,811	83,067
貯蔵品	176	607
その他	437,596	455,132
貸倒引当金	△249	△154
流動資産合計	4,357,231	3,581,050
固定資産		
有形固定資産	363,990	833,247
無形固定資産	89,839	115,611
投資その他の資産		
投資有価証券	79,458	102,326
その他	178,182	165,600
貸倒引当金	△24,751	△24,751
投資その他の資産合計	232,889	243,174
固定資産合計	686,719	1,192,033
資産合計	5,043,951	4,773,084
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,323,400	682,320
未払法人税等	115,868	47,304
賞与引当金	89,220	50,340
その他	725,712	996,282
流動負債合計	2,254,200	1,776,247
固定負債		
退職給付引当金	298,723	307,468
その他	10,900	10,900
固定負債合計	309,623	318,368
負債合計	2,563,824	2,094,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,740	867,740
資本剰余金	447,240	447,240
利益剰余金	1,139,000	1,324,505
自己株式	△265	△518
株主資本合計	2,453,715	2,638,966
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,411	39,501
評価・換算差額等合計	26,411	39,501
純資産合計	2,480,127	2,678,468
負債純資産合計	5,043,951	4,773,084

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,520,716	6,928,175
売上原価	5,656,064	5,887,236
売上総利益	864,651	1,040,939
販売費及び一般管理費	618,637	658,422
営業利益	246,013	382,516
営業外収益		
受取利息	97	91
受取配当金	2,204	2,633
保険配当金	333	—
その他	140	287
営業外収益合計	2,775	3,012
営業外費用		
支払利息	1,877	—
その他	109	—
営業外費用合計	1,986	—
経常利益	246,802	385,529
特別利益		
固定資産売却益	3	—
投資有価証券売却益	564	—
特別利益合計	568	—
特別損失		
固定資産除売却損	5	889
投資有価証券評価損	3,999	—
特別損失合計	4,005	889
税引前四半期純利益	243,364	384,639
法人税、住民税及び事業税	52,704	96,377
法人税等調整額	28,222	27,167
法人税等合計	80,927	123,544
四半期純利益	162,436	261,094

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、情報システム関連事業を主要な事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。